

合同地震津波避難訓練を実施

松橋支援学校

平成25年11月18日（月）に宇城市立豊川小学校との合同地震津波避難訓練を実施しました。

松橋支援学校は海拔1m、海岸線から2.5kmに位置しています。

車椅子利用の48人の児童生徒を含め110人が学ぶ本校にとって、大地震による津波が発生した場合の避難については、場所・方法などに大きな課題があります。これまで避難場所として3.6キロ離れた高台にある老人介護施設を想定していましたが、液状化現象や交通渋滞なども予想されるとの消防署からの助言で見直しを図りました。

今年度初めて、本校から約300m離れた豊川小学校の2階を2次避難先とし、文部科学省の本年度の防災教育指定校になった豊川小学校の訓練に合わせて、避難訓練を実施しました。

事前に豊川小学校との打合せや本校職員によるシミュレーションを行いました。当日はあいにくの小雨交じりの天候でしたが、みんな真剣に取り組みました。訓練をとおして避難時間の短縮、帽子をかぶるなどして教職員自らが身を守ること、小学校との連携についての対策を講じなければならないことなどが明らかになりました。

今後も訓練を重ね、災害に備えていきます。



運動場への一次避難



二次避難場所へ移動



車を止めての横断風景



二階へ避難